

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 24 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	公共施設再生可能エネルギー等導入事業			
担当課係名	上桧木内出張所	課	係	作成者 鈴木 勝久
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち		総合計画のページ
	基本計画	環境保護の推進		
	主要施策	新エネルギー・新素材産業への参入		35
予算費目	一般	会計	4款 衛生費	1項 保健衛生費 3目 環境衛生費
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度		新規/継続の区分	新規
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	公共施設再生可能エネルギー等導入事業実施要領（秋田県再生可能エネルギー等導入推進臨時対策基金事業）			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市民のため 避難施設の機能強化のため (平成24年度：紙風船館、平成25年度：花葉館設置予定、平成26年度以降：市内避難施設かつ学校施設に設置予定)
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	再生可能エネルギー設備を導入することで災害時に機能を発揮出来れば、幹線道路だけで複線が無いこの地域で、幹線道路が分断されるような災害が発生しても、地域住民や避難の不安を緩和し、最低限の避難生活を維持できる。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	(平成24年度) 大地田農村公園ステージに太陽光パネルの設置、紙風船館に蓄電池及びシステムの設置。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	23年度実績	24年度実績			
効果	活動指標	稼働日数	目標	日	/	68		
			実績	日		10		
			達成度	%		14.7%		
	成果指標	総発電電力 (kwh)	目標	kwh		/	/	
			実績	kwh				64.16
			達成度	%				
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)	24年度決算額(千円)			
	事業費(人件費を除く)(A)				10,068			
	人 件 費 (B)		—		6,215			
	職 員 数		—		0.75			
	職 員 平 均 人 件 費		—		8,286			
	(A) + (B) 投下コスト		—		16,283			
	財源内訳	国 庫 支 出 金				0		
		県 支 出 金				10,068		
		地 方 債				0		
		そ の 他				0		
		一 般 財 源				6,215		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		1,628,300			
	市民1人当たりのコスト(円)		—		554			

【事務事業の今までの成果】

平成25年1月13日に工事は完了しましたが、設置しました太陽光パネル間の隙間（メンテナンススペース）に入った雪が凍結し、雪止めとなり太陽光パネルの雪が落雪しませんでした。そのため、システムが正常に稼働しているかわからなかった為に、平成25年3月22日にソニー（蓄電池担当業者）がシステムを復旧させて正常に稼働しています。太陽光パネルのメンテナンススペースについては、平成25年5月に業者が太陽光パネルの雪が落雪できるように工事を完了させています。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	東日本大震災後、国や県でも公共施設の機能強化を図る事業を行っている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
<b>C 2</b>	A 現状のまま継続（実施）	平成25年1月設置したが、太陽光パネル間の隙間（メンテナンススペース）に入った雪が凍結し、パネルが雪で覆われたことにより正常に稼働しているか検証ができませんでした。そのため平成25年3月にシステム復旧を行った。今年度は正常に稼働しているか経過を確認しながら継続して取り組む必要がある。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

稼働状態を確認し、効率的に発電できるように取り組む。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
<b>C 2</b>	今までの手法を見直しつつ、改善すべき部分については検討しながら実施していくべきと考えます。

